

事務 事業名	コード1	42600	スポーツ振興事業	課	体育振興課			
	コード2	①	飯岡しおさいマラソン大会補助金	所屬班	体育振興班			
施策 体系			☒ 主要事業	電話番号	64-1132	内線		
	基本方針	4	心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり	予算科目	会計		款	項
	施策	6	生涯スポーツの振興	根拠法令	一般会計		10	5
	施策の展開	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進					1
	基本事業	247	スポーツ交流の促進					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 元 年度～ ☐ 開始年度不詳	市民ランナーによるマラソン大会の開催。 実施団体:旭市体育協会主催、旭市・旭市教育委員会共催、旭市飯岡しおさいマラソン大会実行委員会主管 実施時期:2月第1日曜日 開催種目:2km(親子の部)、3km(小学生)、5km(中学生・一般)、10km(一般)、ハーフ(一般) 会場:いいおかコートピアセンター コース:市内海岸通り(県道30号)
☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	【業務の流れ】 マラソン大会開催にあたり、実行委員会会議の開催、イベント業者及び計測業者との契約、交通指導員や警察との協議、各種申請、開催PR、当日の大会運営等を行う。(旭市飯岡しおさいマラソン大会実行委員会の事務局が体育振興課となる)

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績)		単位:千円
1.飯岡しおさいマラソン大会補助金	4,980	
2.「がんばろう!旭」復興支援補助金	305	
	0	
	0	
【前年度比増減理由】記念大会分及び復興支援補助金なし【歳入】災害復興基金繰入金305千円		
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績)		単位:時間
1人×8h×200日=1,600h(担当者事務)		
5人×8h×30日=1,200h(事前準備) 4人×8h×10日=320h(片付け)		
9人×13h×1日=117h(当日:課事務員)		
119人×8h×1日=952h(当日:他課職員) 合計 4,189h		

			単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
事業費	費目内訳	1. 飯岡しおさいマラソン大会補助金	千円	4,000	4,000	4,980	4,000
		2. 「がんばろう！旭」復興支援補助金	千円		1,912	305	
			千円				
			千円				
			千円				
	事業費計（A）		千円	4,000	5,912	5,285	4,000
	うち一般財源		千円	4,000	4,000	4,980	4,000
人件費	正規職員従事人数		人	2.08	2.08	2.08	2.08
	延べ業務時間		時間	4,189	4,189	4,189	4,189
	人件費計（B）		千円	15,918	15,918	15,918	15,918
	トータルコスト(A)+(B)		千円	19,918	21,830	21,203	19,918

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	➡	⑤ 活動指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) 25回記念大会の開催、ゲストランナー招待、 ポスター作成・掲示		ア ポスター配布数	枚	800	800	600	500
	26年度計画(26年度に計画している主な活動) ホームページ作成、ポスター作成・掲示		イ 募集要項配布数	枚	14,000	14,000	16,000	15,000
			ウ					

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	➡	⑥ 対象指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	市民 市民ランナー(市外の方も含む)		ア 人口(4月1日時点)	人	69,749	69,223	68,725	68,241
			イ 申込者数	人	3,971	3,987	4,063	4,150
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	➡	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	・マラソン大会に参加することで、親子の絆や友人、ランナー同士の交流が深まり、健康増進に繋がる。 ・市外からの参加者に対し、旭市をアピールできる。		ア 申込者数(誰もが気軽に参加できる大会、魅力ある大会として開催されているかを見ることが出来る)※参加率(定員5,000人に対する申込者数)	%	79.42	79.74	81.26	83.00
			イ 大会を通じて旭市内の市内参加者と交流を深めることができた市外参加者の割合	%	—	未把握	未把握	—
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	➡	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	・大会当日だけではなく、継続的にマラソンに取り組むことにより、市民の健康増進や生きがいづくりとなる。 ・スポーツ交流を通じて、旭市をPRし、旭市への来訪者を増やして観光振興を図る。		ア RUNNETによる参加者からの声(実際に参加した方の意見が寄せられる)	人	23.0	23.0	25.0	28.0
			イ 観光客入込数	千人	909	1,277	1,310	—

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?		② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?		③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
平成元年に旧飯岡町で町民の健康増進、地域の活性化のために始まった。		飯岡地域のみで開催していたが、市町村合併及び震災により、飯岡地域、旭地域を走るコースへ平成23年度に変更となった。しかし、市全体で考えると本大会に対する考え方や取り組みに地域の温度差がある。また、旭市体育協会の事業であるが、実行委員会事務局を体育振興課で行っており、市職員の負担が増加している。		参加者は年々増加しており、25年間継続して開催している歴史ある大会でもあることから、広く周知された大会である。参加者からは、地域のボランティアの温かさを感じる良い大会であるという意見が多い。	

事務事業名	スポーツ振興事業 飯岡しおさいマラソン大会補助金	課名	体育振興課	班名	体育振興班
-------	-----------------------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	市内外の参加者が一緒にマラソンを楽しむことでスポーツ交流に繋がる。また、大会へ参加するために継続的に練習をするなど市民の健康増進にも繋がる。
	② 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	親子マラソンからハーフマラソンまで多種目を開催しており、それぞれの能力に合わせて市民誰もが参加できる大会となっており、適切である。意図についても市民の健康増進、ランナー同士の交流促進、ロードサービスやおもてなしなどによる旭市のPRとしており、適切である。
	③ 行政関与の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	旭市で開催されている唯一のマラソン大会であり、旭市体育協会単体で実施するには規模が大きすぎるため、行政として支援は必要だが、事務局が体育振興課にあるため業務の全てを市職員が行っている点については見直し余地がある。
	④ 成果の現状水準	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	近年のマラソンブームにより、参加者は年々増加している。しかし、会場のキャパシティの問題や大会の個性(旭市の個性)が薄いことから、ランネット利用者による人気大会と比べると路上応援の少なさなどの項目で満足度が低い。
	⑤ 成果の向上余地	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしただけ、活動を工夫しただけでも、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するとどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	メイン会場、コースを見直さなければ、今後参加者が増加した場合、対応できないと思われる。震災で津波被害があった場所で開催していることが問題である。(旧飯岡町に縛られている)しかし、会場変更等した場合の旧飯岡町時代から協力いただいているボランティア(役員)のモチベーションの低下が懸念される。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (1) 事務事業名：() (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 旭市で開催されている唯一のマラソン大会である。	
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	ホームページやSNSを使い、印刷物を少なくすることや副賞を変更することで事業費を削減する余地はある。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	旭市体育協会と事務を分担するなど、協会に協力を求めることで、業務時間を削減できる余地はある。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	市民誰もが参加できるイベントである。走らない(できない)方もコース上で応援したり、メイン会場で雰囲気を楽しむことができる。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	事業としては、地域に根付いた市のシンボリックなマラソン大会であり、参加したランナーからの意見も評価が高く、市民の健康増進、交流、スポーツ振興に貢献している。しかし、事業のやり方、進め方、実行委員会組織体制に問題があり、今後は、市全体の大会であることを意識していかなければならない。
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
③ 効率性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
☐ 目的再設定 ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 廃止・休止 ☒ 行政関与の見直し ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☒ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 費用負担の適正化		
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？		
いつまでに	なにを、どうするのか？	
平成27年3月末	①実行委員会組織の見直し ②会場、コースの見直し ③開催種目の見直し ④HP・SNSの利用や副賞変更の検討	向上 維持 低下 コスト 削減 維持 増加 ○
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		
旧飯岡町時代からの思想、体制を旭市(新市)としての意識改革が必要である。また、会場、コースを見直しするにあたり、警察やJRなどの関係機関との協議、許可が必要となる。		